

2019

10月25日

(年7回25日発行)

第475号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三浦ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL : http://www_ueki.or.jp/
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

謹んで台風、豪雨災害のお見舞いを申し上げます。

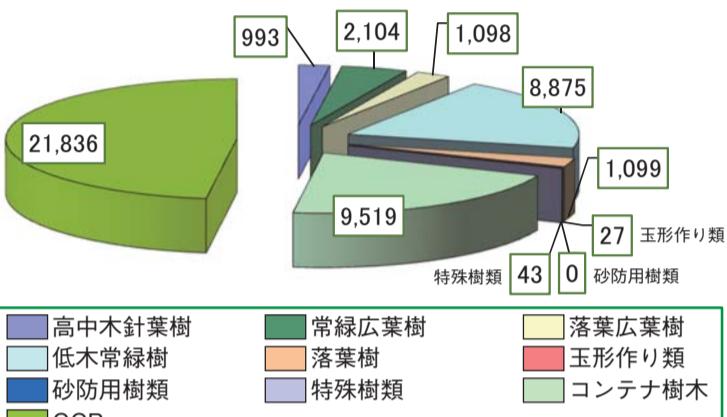
台風、及び豪雨災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 日本植木協会

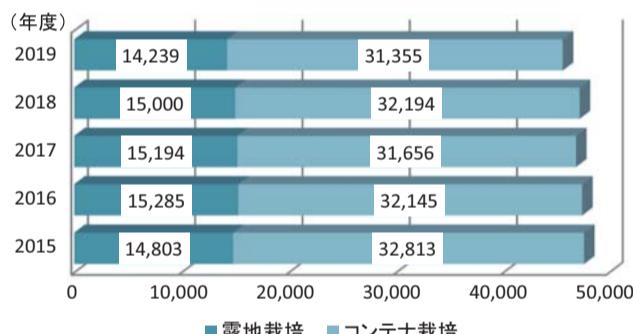
会長 宍倉孝行
会員一同

図一1 形態別の供給可能量 (単位:千本・鉢)

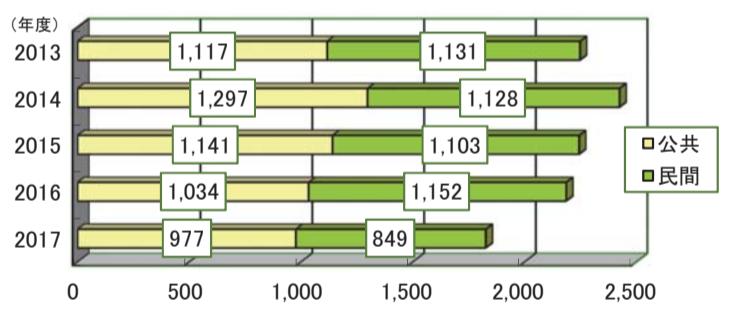
[2019年度:45,594千本・鉢]



図一2 露地・コンテナ栽培の推移(単位:千本・鉢)



図一3 発注者別元請完成工事高の推移(単位:億円)



工実績調査】(国土交通省)によつて検討する。2018年度の件数は247,991件、前年度に比較し2・2%増となつたため、前年度比14・5%増加し、8年連続の増勢となる。

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カシツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
http://www.setoen.com/ E-mail : setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カシツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモジ ハナモモなど



9月19日木曜当協会顧問の有村治子参議院議員が栃木県の圃場を視察しました。有村議員は、栃木県鹿沼市で保育士の方々を対象にした「保育に関する講演会」においてお話をした後、この機会を利用して栃木県の

園場を視察したいとのことで、善林園芸と石川環境緑化㈱の圃場を田中秘書とともに訪れた。

ギンモクセイの香りが漂う圃場を視察して回り。ハナミズキの接ぎ木博しているアオダモや葉がハート型をしているカツラの樹の前では皆が指でハートの形を作り集合写真も撮っています。

視察終了後は会議室に場所を移し、皆と情報交換を行いました。

有村議員から、植木協会の皆さまと今後も連携しながら、ハロウインやバレンタイン、恵方巻きのような愛される流行を私たちには「植木」を通してつくっていきましょう。これからも、植木応援団の国会議員

東日本ブロックでは令和元年初となるブロック研修会を6月6日(木)に皇居東御苑にて開催しました。当日は初夏の様な暑い日差しが大きめの青年部会の方々にご参加を頂きまし

た。園内の見学は元宮内庁庭園課・元日本植木協会専務理事の平栗氏による解説で見学しました。

皇居東御苑は天皇皇后両陛下のお住まいになつてゐる皇居の一角(東側地区)にある皇居付属庭園で、皇居の由緒ある豊かな自然や歴史に思いをはせながら四季の変化や花々が見られるよう、多様な樹木、草花が配置されています。

1968年の10月に開園となり、一般に公開されました。その後半世紀にわたる。その後半世紀の中で、ガーデニングブームや自然へ

の回帰等多様性を求める時代への呼応とまた昭和から平成、令和へと歴代天皇平成天皇が大勢の青年部会の

元日本植木協会専務理事の平栗氏より説明を受ける

元日本植木協会専務理事の平栗氏より説明を受ける

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

…

シリーズ 協会各委員会紹介

第5弾 地域性植物適用委員会

委員長 國忠 征美 (グローバルグリーンクニタダ・岡山県)

近年、盛んに外来生物による被害が世間で取り沙汰される様になってきた。また、この日本の法律として、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成16年6月2日法律第78号)』(通称: 外来生物法、特定外来生物被害防止法)が、平成17年(2005年)6月1日に施行されている。それにより、我々植物の生産者に於いては、トウネズミモチ、ニセアカシア(ハリエンジュ)などが「要注意外来生物」に指定され、生産販売が非常に困難となつた。

一方で植物の分類体系としては、外観による分類である新エングラー体系からゲノム(遺伝子)解析による分類であるAPG体系と進化してきており、更に種レベルに於いても地域によって遺伝子が異なることが明らかになってきている。現在書籍としては、「地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン 津村義彦、陶山佳久著 文一総合出版(2015/6/4)」が出版されており、今後これに従って緑化を行う省庁、地方公共団体(地方自治体)、企業、団体などが増加することが考えられる。

・生産

当委員会に於いてはこれまで「日本の植物区系 前川文夫著 玉川選書」を基に地域区分を行っているが、発注者により採種採穂地が指定される場合多い。採種採穂及び生産に於いては、受注者(生産者)が主に行い、発注者の要望に応じ、受注者(生産者)もしくは当委員会から产地証明書の発行を行っている。

・委員会

委員は各ブロックから各1名、営業力、技術力などが優れた者が選出され、改選時各ブロックより承認された者である。これまで会議は年2回、研修は年1回行ってきたが、予算の関係で本年の研修は中止とし、来年度は会議年1回、研修年1回とする。協会員全員に研修会の案内を送付予定なので、ご興味のある方は是非ご参加頂ければ幸いである。

・事例

ごく一部ではあるが、主な地域性植物の苗木を使用した緑化事例は下記の通りである。



(当曰、清瀬さんは欠席)

東日本大震災復興記念公園、四国地区国有林内災害復興工事、国土交通省三遠南信道路工事、静岡県富士宮工業団地内緑化、三重県大台町企業の森、関西地区企業事業所敷地内緑化、東京都海の森など。現在、他にも公表段階でない案件もある。

・将来

地域性植物はその地域の気候、土壤などの自然環境の下で永年生育しており、その地域で生育するのに適した遺伝子を持っている。これを踏まえ今後は、環境保全条例により“適地適木”を使用し自然景観の復元が行われて行く事が予想される。

また、地域性植物に付いては、日本緑化工学会、(一社)日本樹木医会などでも盛んに取り上げられている。

更に、当協会(当委員会)としては、国土交通省、農林水産省、環境省などの各省庁、都道府県などの地方公共団体(地方自治体)などと密に情報交換を行い、連携して地域性植物の普及に努めていく必要があると考える。

今後は優秀な若い委員に交代していくと考えている。地域の植物が正確に同定でき、植生調査及び提案書の作成、役所やゼネコンとの交渉ができる者が着任することを望む。



プナ (芽生え)

ウメモドキ (果実)

モチツツジ (花)

連載「里山植物と景観」

第2回 里山の草地

東京農業大学名誉教授 中村 幸人



◆プロフィール 中村 幸人(なかむら ゆきと)
1952(昭和27)年3月 東京農業大学名誉教授(博士 理学)
専門: 植生学、植物地理学、景観生態学
神奈川県鳥獣総合対策協議会委員、神奈川県公共事業評価審査会委員、国際植生学会群集命名規約委員会委員 他
横浜国立大学助手、作新学院大学教授を経て平成14年より東京農業大学教授

里山の暮らしの中で培われる郷愁は歳時記の中に見つけだすことができます。そこでは四季を通して変化する自然と人の営みとして表現されています。その中でも低地に広がる水田は里山の風景を際立たせる主役を演じているように思います。

真夏の田んぼの中干しの頃、干上がってひび割れた田は蒸し暑そうで、その中にタカサゴロウやチョウジタデ、イヌビエの花を目にします。一方、同じ耕作地でも畠地になるとスペリヒュ、ザクロソウ、コニシキソウ、イヌビユ、カヤツリグサなど、短期一年生草本群落がみられます。これらの畠雜草は東南アジアなど南方起源で、夏季限定で出現します。植物体は小形で発芽、生長、開花、結実まで短期間で完了するのは彼らの戦略です。ナスやキャベツなどの栽培植物の陰で見つからないようにさっさと生活史を終えています。秋になると欧州など北方型のホトケノザ、コハコベ、オランダミナグサ、オオイヌノフグリなどが顔を出し、越冬して早春の畠地に春季相を形成します。

水田や畠地の雑草群落は耕作という集約的な管理に適応して成立しており、耕作を止めるとこれらの雑草群落は消えてしまいます。厄介な雑草ではありますがその存在によって適正に耕作が行われているという指標になるのです。

夏の青々とした土手にはオカトラノオ、ヒヨドリバナ、カワラナデシコ、ヤマユリ、ツルボなどの夏の花が咲き始めます。土手は田んぼとは対照的です。一年生草本植物が主役の田んぼに対して土手には多年生草本植物が生育しています。土手は宿根によってしっかりと守られている場合は、崩壊することはありません。土壌深くまで張り巡らされた根茎が土手を支えているわけです。多年生草本植物が定着するためには初夏に草刈りをして、翌年の冬に野焼きをして管理しています。野焼きは木本植物の侵入を抑える効果があります。火を入れないとウツギ、ヤマグワ、コウゾなどの陽地生低木類やツルウメモドキ、スイカズラなどの藤本植物が繁茂するようになり、草地が維持できなくなるのです。初夏の草刈りは柔らかいうちに家畜の餌を確保するために行われました。この管理がススキの単一種優占を防ぐことになります。

高茎になったススキの密生草地では被陰されてほかの植物は生育できませんが、ススキの草丈と優占度が抑えられることによって、チガヤ、トダシバ、オオアブラススキ、アブラススキをはじめとして多くの宿根草が定着できるようになります。



キキョウ、オミナエシ、オオバギボウシの咲くスキ草地(福島県南相馬市)

土手は日当たりがよく、乾燥しやすいために秋の七草に代表される植物がみられます。ハギ、ススキ、クズ、カワラナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウを指しますが、奈良時代の歌人、山上憶良(やまとおのくら)が万葉集で一つ目の歌で「秋の野に 咲きたる花を折りかき数ふれば七種の花」、二つ目の歌でそれは「萩の花 尾花 葛花 撫子の花、女郎花 また藤袴、朝貌の花」とあります。朝貌は現在では桔梗のこととされています。ハギはヤマハギが普通です。昔から里山になじみの深い植物が取り上げられていますが、今の生育地をみれば、身近な土手や茅場であったことが想像できます。秋には七草のほかにもワレモコウ、アキカラマツ、ツリガネニンジン、ノアザミ、リンドウ、オオバギボウシなどが秋の里を彩っていましたはずです。そして野焼きのあとに早春にはヒメハギ、クサボケ、キジムシロ、ミツバツチグリ、オキナグサなどが咲いていたのでしょうか。

里に身近にみられた植物も今日では少なくなってしまいました。利用されなくなった茅場の減少、都市化による里山の減少、そして6月の青草刈り、2、3月の火入れという土手を保全するための伝統的な管理も行われなくなってしまったことが原因として考えられます。今、残されている生育地は昔からの管理が続いている奇跡的な場所です。里山の暮らしの中で培われる郷愁の拠り所を取り戻したいと思うし、子供たちにも伝えたい美しい日本の自然です。

青年部全国研修会（福岡）

事業委員長 福島 啓輔

(有)福岡緑化情報センター・福岡県

令和元年度9月10日に、
青年部全国研修会を福岡で
行いました。
天候は晴天の中、参加人
数は、90人での開催となり
ました。

前日に台風15号が関東圏
内に上陸した為に、参加人
数が少くなると懸念して
いました。
今回、事業委員会の中で
は、研修会の様々な話し合
いをしていきました。その
中で各事業委員は研修先を
提案し、5案

の中から開催地を決めて行
こうことなりました。
そんな話し合いで、新
しい元号「令和」が4月1
日に発表され、5月1日
から使用される形となりま
す。その典故とされる坂
本八幡宮が福岡県太宰府市
にあり、新しい元号が発表
された時に立会えると言
う事がこれから何度も無い
事を感じ、今共に頑張ってい
る青年部会員様に参拝し
よう。となる

ヤフオクドームにて
ペンなどの見学をし、貪
さん達も、色々な所で写真
を撮り楽しんでいたので良
かったと思います。特にボ
ークスビジョンでは、自分
の姿が、設置していたカメ
ラからビジョンに写る事で
喜んで写真を撮っていました。

皆さんは喜んで写真を撮つて
いました。
大伴旅人は自身の邸宅にて
お花の宴を開催しました。
大宰府や九州諸国役入た
ちを招き、宴を開催し当
時は戸惑いもありましたが、
会員さん達も慣れてきた
と感じました。

締めの懇親会では、青年部
では初めてとなるバ
ーベキュー形式での懇親会
を開催しました。最初の方
が不可能となってしまいま
した。

次に、太宰府展示館、坂
本八幡宮の方に移動しまし
た。その時には、雨もやみ
晴天に恵まれました。
ここでは、バスの班に分
かれ3班による行動になり
ました。

その後、太宰府展示館か
ら出て歩いて行くとまず、
そのまま歩いて行くと令和ゆ
かりの地、坂本八幡宮が見え
ました。規模は小さかったの
ですが、新元号について話題にな
っていた場所で

クドームバックヤードツア
ー、初めての試みとな
った後に、ロッカールーム、ブル
ミーティングルーム、ブル

で色々な問題を話し合つて
きました。
そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーの皆とても
盛況にて終わった事は、
幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

幹事会メンバーナーなどで
また今回幹事会などで
見学と参拝の方を致しまし
た。

そこで会員の皆さん、令和に
向けての色々な想いを込め
て参拝していました。

最後に大宰府天満宮と光
明禅寺のほうに向かいまし
た。光明禅寺は福岡では珍
しい苔寺です。苔をおおう
ように枝をのぼすモジジが
美しくとても素晴らしい庭
園を見学しました。太宰府
天満宮では、梅の木が色々
と植栽されておりそちらの
花の宴の再現展示された、梅花の宴の再現展示

などを前にガイドさんか
ら、色々な事をお教えた

と感じました。

令和元年度通常総会 福岡県にて開催

令和元年度庭園樹部会通常総会は、令和元年9月26日15時30分より15名の参加をもって福岡県久留米市の「久留米シティープラザ」において開催された。

通常総会は、小畠副部会長による開会宣言、岩田部会長の挨拶に続き、来賓の川口担当理事から挨拶を行なった。

議長には福岡支部の川津氏が選出され、議事録署名人に福岡支部の牛嶋氏と鹿児島支部の吉田氏の2名を指名して議事に入った。

第1号議案「平成30年度事業報告と決算・監査報



議長の川津富夫氏
(川津園芸)

告」については、事務局より事業報告と決算報告が説明され、佐土原監事より諸帳票類は適切に処理をされており問題は無かったとの監査報告があり、審議の結果、全会一致で承認された。

第2号議案「令和元年度事業計画案と予算案」については、事務局より事業計画と予算(案)が報告され、

最後に、次回総会は関西ブロックで開催したいとの提案は賛成され、開催場所、時期などについては役員と事務局で検討していくことにした。

全ての議事が終了し、議長退任をうけて勝山副部会長の閉会の辞により、令和元年度庭園樹部会通常総会は終了した。

18時00分からは、豊岡敏則九州ブロック長、梶村和男福岡支部長をお招きして懇親会が開催され、終始和やかに懇談が行われた。翌26日は、雨予報が見事に外れ晴天に恵まれたなか研修会が行われ、佐賀県吉

本校は明治39年に前身の愛甲郡立農業補習学校として開設以来、幾多の変遷をとどり、現在の校地、校名となりました。今年で113年目になり、これまで多くの人材を輩出してきました。

現在は園芸科学科・畜産学科・農業総合科の3学科があり、農業を通じて、これから社会を担う人材の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。

本校の造園教育は、「都

市綠化に関わる造園技術者や緑化材料の生産及び自然保護に貢献しようとする技術者を養成する」ことを目標に、園芸科学科の中に位置付けられています。現在は「野菜・果樹・草花・

造園」の4部門から選択することができます。コンテスト大会参加などを目標にすることでの授業を展開しています。そのため、資格取得や

コンテスト大会参加などを目標にすることでの授業を実施しています。3年では「課題研究」で2級合格のため、それまでの経験を活かし、練習計画を立て、取り組みます。3年間の道筋を立てることにより、これを目標に地道に活動する生徒が出

ます。3年間の道筋を立てることにより、これを目標に地道に活動する生徒が出てきました。ただし、毎年良賞や優秀賞を受賞する生徒が増えてきました。ただ、ここ数年受験者が増加します。28年以降、2級を取得した生徒も現れました。1年生

からローブワークなど基本的な練習から始め、2・3年が受験している実技試験に参加するなど生徒の希望で実施しているので、取り組む数が安定せず、毎年苦労しています。今後は園芸科学科の中で裾野を広げる必要があります。一人でも多くの造園専攻生を増やすことが急務になっています。

審議の結果、全会一致で承認された。その他に意見等があればと議場に詰つたところ、毎年、名木の認定が行われ、これら名木の写真集を作成していくが、現在は行われていない状況にある。この

名木について何等かの形で残し情報提供を行っていく必要があるのでないかとの意見がだされたことから、令和元年度にその方法について検討することにしました。

久留米市の三瀬(みずま)の松を視察した。樹齢700年を超えた小川内のスギは佐賀県天然記念物に指定されおり水没してしまったため、社のご神木で、ダム建設により水没してしまった。

現在は園芸科学科・畜産学科・農業総合科の3学科があり、農業を通じて、これから社会を担う人材の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。

本校は明治39年に前身の愛甲郡立農業補習学校として開設以来、幾多の変遷をとどり、現在の校地、校名となりました。今年で113年目になり、これまで多くの人材を輩出してきました。

現在は園芸科学科・畜産学科・農業総合科の3学科があり、農業を通じて、これから社会を担う人材の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。

本校は明治39年に前身の愛甲郡立農業補習学校として開設以来、幾多の変遷をとどり、現在の校地、校名となりました。今年で113年目になりました。今年で113年目になりました。今年で113年

会で終了しましたが、過去7回出場し、第19回の大会では意願の奨励賞を受賞することができました。「日本フラワー&ガーデンショウ」は、平成29年から参加し、その年に銅賞・学生特別賞、翌年には奨励賞を獲得しました。また、平成30年には「日比谷公園ガーデニングショー」にも出場しました。コンテストに参加するに当たっては「アイディア」と「手作り」をコンセプトに、生徒から見た「造園」のかっこよさをより多くの人達に知ってもらうPR活動も兼ねています。

「日本フラワー&ガーデンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

をコンセプトに、生徒から

見た「造園」のかっこよさ

をより多くの人達に知つて

もらうPR活動も兼ねてい

ます。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

をコンセプトに、生徒から

見た「造園」のかっこよさ

をより多くの人達に知つて

もらうPR活動も兼ねてい

ます。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

をコンセプトに、生徒から

見た「造園」のかっこよさ

をより多くの人達に知つて

もらうPR活動も兼ねてい

ます。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

をコンセプトに、生徒から

見た「造園」のかっこよさ

をより多くの人達に知つて

もらうPR活動も兼ねてい

ます。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

をコンセプトに、生徒から

見た「造園」のかっこよさ

をより多くの人達に知つて

もらうPR活動も兼ねてい

ます。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成30年の第20回大

会で終了しましたが、過去

7回出場し、第19回の大会

では意願の奨励賞を受賞す

ることができました。

「日本フラワー&ガーデ

ンショウ」は、平成29年か

ら参加し、その年に銅賞・

学生特別賞、翌年には奨励

賞を獲得しました。また、

平成30年には「日比谷公園

ガーデニングショー」にも

出場しました。コンテスト

に参加するに当たっては

「アイディア」と「手作り」

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。



蜂～始○物語④ (はちからはじまるものがたり) 蜂は危険生物？

友 友 (蜂蜜処・井上園)

そもそも、黄色と黒の縞柄ですから自ら「注意して！」「危険ですよ！」と自己主張しているので、気を付けなければなりません。

「蜂は刺す」⇒「危険生物」と思う人が多い。何故刺すのかを考えれば、この問題は解決します。蜂は、自身や自分の巣を守るために攻撃するのであって、むやみに人間を襲うことはありません。

スズメバチやアシナガバチは巣のそばに近寄ると、威嚇して攻撃してきますが、ミツバチはそこまでの行動はなかなかしません。しかし、食糧不足や女王の欠如の家庭不和の状態では、イライラして攻撃的になります。(衣食住足りて礼節を知るとはよく言ったものです)

熊を連想して黒い服装は攻撃されやすいという説がありますが…地球上に蜂などの昆虫が現れたのと哺乳類の熊が生れたのには年代が違いすぎるので、何か他の理由で蜂が黒色に反応していると考えるのが自然と思われます。また、香水や化粧品の匂いの中に蜂を刺激するものがあり、それが原因で刺されることがあるので注意したい。

樹林地や畑での作業は蜂に刺される危険性を伴うので「ポイズンリーバ」等の毒を吸い出す道具を携行する事をお勧めします。口で吸い出すという行為は自ら

体内に摂取してしまうので行わない方が良いです。蜂毒は体内で抗体ができ、2回目に刺された時にアレルギー反応を起こす可能性があります。鼓動が速くなったり、息苦くなったり、ジンマシンを発症したら救急車にて病院に行かない命にかかわりますので注意して下さい。これを「アナフィラキーショック症候群」と呼び、毎年数多くの人が命を落としています。



日本蜜蜂の「蜂球」移住先を討議中

あまり知られていないのですが…蜂毒には三系統あり、スズメバチ・アシナガバチ・ミツバチによって毒性が違います。同じ種のハチに複数回刺されるのが危険です。体の大きい方が毒性が強いということではなく、ミツバチに刺されてお亡くなりになる方もいます。心配の方は、病院にて血液検査を受け、蜂毒のアレルギー度合いを認識するのが長生きの道しるべになります。

ハチは巣（ホーム）周辺では激しいディフェンスですが…餌場等（アウェー）では攻撃性は少なくおとなしいです。近年人気の「細葉ヒイラギナンテン」の花にスズメバチが集まり、危険を感じている人がいますが、そこに巣が無ければ刺されることはず無いでしょう。素手で握りつぶす様なことをすれば刺されるでしょうが、そんな猛者は、なかなかお目にかかれないのでしょう。

井上友二 植木処・井上園（神奈川県）

特集

竹はポピュラー、なれど不思議な植物

東南アジアの竹

(1) タイの竹「パイ・ルアーク」

渡邊政俊

◆プロフィール

1933年 富山県生まれ。京都外国语短期大学卒。1951~1991年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。1992~2002年(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降林野庁の特用林産ビジョン検討委員会委員など竹・タケノコ関連事業委員を歴任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970~72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、竹文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。



タイには17属72種の竹が生え、その竹林面積は約45万haと報告①されており、なかでも最大の分布はパイ・ルアークと呼ばれるタイルソシタチス・サイアメンシス(*Thyrsostachys siamensis* Gamble)である。この竹種は、稈径2~4cm、稈高6~14mで、びっしり密立してクランプ(叢生・株立ち)を形成し、稈鞘(皮)は永年稈に残り、また竹稈の中空部はきわめて小さい特徴②を有する。建築材をはじめ、編組物、箸、傘材、工芸品、釣り竿など、またタケノコも食される。竹材は野菜の支柱などとして海外に輸出されており、用途の広い竹種である(写真1)。

本種はマレー半島部を除くタイ全土に広く分布し、特に西部から北中部の乾いた混生落葉樹林帯では純林を形成している(図1)。また、全体の容姿が美しいことから、東南アジア各地で観賞用として好んで植栽されている。

筆者が初めてこの竹に出会ったのは49年前(1970~72)で、国際協力事業団(OTCA; 現在のJICA)の竹栽培専門家としてタイ王室林野局(Royal Forest Department: RFD)に派遣された時であった③。

まず、本種の天然林を視察するため、バンコクの西約80kmに位置するカンチャナブリー県にあるRFDのカオ・ヒンラップ竹林試験場で、初めてそのパイ・ルアーク竹林を見て驚いた。なんと、真っ赤に枯れたような林況を呈していたのである(写真2左)。そこで、同所主任に尋ねたところ、タイは熱帯モンスーン域にあり、乾期(12~3月)には一滴も雨が降らないため、このような状態になるとの説明。筆者が初めて見たのは2月だったから、なるほどと理解したのであった。そして、同年の雨期(6月)に同試験場に戻ったところ、見事な緑深い林分(写真2右)に変わっており、数多くのタケノコが発生していた。

このように、本種は厳しい乾期には枯死状態でその環境に適応し、そして雨期になると急激に生活力を回復するのであり、その驚くべき生態に



写真1 パイ・ルアークのクランプ(叢生・株立ち)



図1 タイ国とパイ・ルアークの主要分布域(点線内)



写真2 パイ・ルアーク竹林 左: 乾期、右: 雨期



写真3 実生パイ・ルアークの発達
左: スポット空地の実生群生 右: 実生による群落の形成

一種の感動を覚えたのを想い出すのである。

タイ西部の混生落葉樹林帯に見られるパイ・ルアーク竹林は天然林であり、クランプ間にスポット空地ができ、小径の実生が群生しているケースが見られる(写真3左)。その実生の群生は小さいクランプ群で構成されているが、時の経過と共に大小様々な大きさのクランプで構成された天然竹林に発達するのである(写真3右)。

天然竹林にはスポット空地が多いことから、前記RFDの竹林試験場にはパイ・ルアークの造林試験地があり、竹苗は株立ちしている中から1年生立竹を選んで株分けし、苗畠で育成している(写真4)。同試験地は年間雨量700~1,000mmの環境にあるが、造林後5、6年(写真5左)の造林地が、約10年後には生い茂る林分(写真5右)に育っているのが確認できた。すなわち、このパイ・ルアークは厳しい乾燥した環境に適応して生育する竹種であり、現地の人々にとって貴重で大切な植物資源なのである。



写真4 植付け用竹苗

引用文献

- ①タイ王室林野局(2009) Bamboos in Thailand.
- ②Wei-chih Lin (1968) The bamboos of Thailand
- ③Masatoshi Watanabe (1972) OTCA 報告書



写真5 パイ・ルアークの造林地 左: 造林後5, 6年 右: その10年後の林相



